



## 今月の特集

## ウクライナ情勢と歯医者

2月24日、ロシア・ウクライナ問題により多くの方が犠牲になり世界中で憤りと不安が広がっています。また、日本の歯科医療にもその被害は広がっています。以前お伝えしたように、**パラジウム (Pd)** は銀歯に使われる金属です。

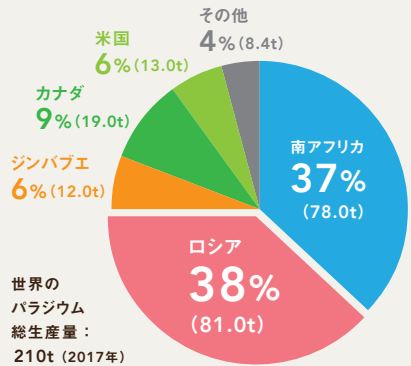


パラジウムについて

パラジウムはロシアが世界全体の約40%を生産しロシアへの経済制裁で**世界はパラジウムの約40%を失いました。**

すでに、歯の治療で使用する銀歯(金・銀・パラジウム合金)は手に入りにくい状態になっています。そのため当院ではパラジウムを混ぜない、**銀合金を使用する症例も増えてきております。**これが、現在の保健医療制度です。

データ：U.S.Geological Survey - Mineral Commodity Summaries



## パラジウムなしの銀歯

銀歯には、銀(正確には銀合金)だけでできているものもあります。銀合金の銀歯は、パラジウムなしの銀歯よりも金属アレルギーを起こしやすく、また、黒く変色してしまう特徴があり、決して口腔内に使用することに推奨できるものではありません。



## 保険外治療の歯はどうか?

「歯医者は、また自費の歯をすすめる・・・」という認識が患者さまのなかにあるのは、私どもも存じております。しかし、こんな状況ですが、私たちは自費の歯をおすすめします。

それは自分や自分達の家族には決して銀歯を使用した治療はしないからです。

E-maxやジルコニア、見た目が綺麗な素材もありますが、大臼歯といわれる一番奥歯にはゴールド(いわゆる金歯)を推奨しております。ご存知の通り、金は安定した金属としても有名です。

安定というのは、化学反応しにくく、溶け出しにくく、酸化しにくいもの、電気抵抗が少ないものという意味です。

「化学反応しにくく、溶け出しにくい」ということは体の中に侵入せずアレルギーを引き起こしにくく生体親和性に優れています。

実は私、奥歯に金歯を入れています。自分の歯によく馴染み、違和感がなく、自分の歯の一部のように感じます。馴染みの良い特性で歯と金属に隙間ができにくいので、虫歯になりにくいというメリットもあります。

セラミックやジルコニアなどの見た目のいい歯ももちろんいいものですが、力がかかる奥歯には、体に安全で、安定性のある「ゴールド」を検討してください。

セラミックとゴールドの違いは今後どこかのニュースレターに寄稿します。気になる方は、ぜひお気軽にお尋ねください。

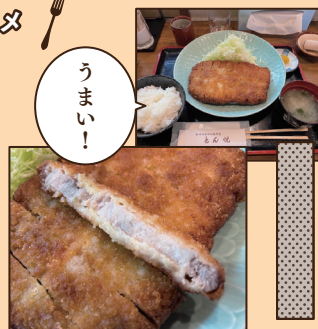
### 事務長の孤独のグルメ

今月の孤独のグルメは、

北海道函館市亀田港町22-11

「とんかつ専門店 とん悦 亀田港町店」

「トンカツを好きな時に食べられるように働け」ちょっと贅沢なトンカツを考えることなく食べられるようになる。仕事に対する座右の銘として大事にしています。パン粉が薄く、豚肉の香りが程よく鼻をくすぐるとん悦さんのトンカツ。系列店ですから、函館市内では「まつ」さんを含めて3店舗目です。金歯が唸るかみごたえのあるとんかつも好きですが、前歯で噛み切れる柔らかいトンカツももちろん好き。醤油と辛子で食べてもよし、塩で食べるのもよし、ご馳走様でした。



＼ P2 OPEN! ／

Dr.Shun's Tweet.



## シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>